

平成24年度 ソバセミナー開催要領



1. 開催趣旨

北海道は国産ソバの1/3強を生産する大産地であり、ソバは産地において準基幹的な作物として重要な地位を占めています。現在、主力品種「キタワセソバ」が栽培面積の95%を占めていますが、生産性の高い新品種を求めています。北海道農業研究センターで育成した新品種「レラノカオリ」は、平成23年度に北海道の優良品種に認定され、今年度から一般栽培が始まります。今回のセミナーは新品種「レラノカオリ」を主題とします。まず「レラノカオリ」の圃場見学を実施し、「レラノカオリ」の実際の草姿を見て頂き、講演会での理解を深めて頂きます。講演会ではまず、ソバに対する農林水産省の最近の振興政策について話題提供して頂きます。次に「レラノカオリ」の育成経過と特性の紹介、ソバ産地の取り組み、実需者の視点からの評価を述べて頂きます。このセミナーで政策を含めた今後の普及・利用面における展開を考えたいと思います。

2. 開催日時 平成24年 7月19日(木)

3. 開催場所 新得町公民館 ふれあいホール

(〒081-0014 北海道上川郡新得町4条南4丁目 TEL 0156-64-5874)

4. 第1部 現地見学 新得駅10:15集合

- ・「レラノカオリ」圃場見学 ・新得物産株式会社 本社工場
(昼食 新得そばの館) 見学は無料バスのみで自家用車は御遠慮下さい。

5. 第2部 講演会 開会13:30

1) 主催者挨拶 北海道農業研究センター所長 天野哲郎

2) 講演(13:40~16:30)

- (1) そばの生産を巡る状況について 市橋康弘 氏(農水省生産局農産部)
- (2) 新品種「レラノカオリ」の育成と特性 森下敏和 氏(北海道農業研究センター)
- (3) 新得町におけるソバ生産から加工までの取り組みならびに「レラノカオリ」への期待 池田佳弘 氏(新得町農業協同組合)
- (4) 協定研究における「レラノカオリ」の品質評価と今後の展望 北川裕司 氏(全国蕎麦製粉協同組合)

3) 意見交換(16:30~17:00)

6. 参集範囲 生産者および生産団体、民間企業、行政機関、試験研究機関、教育機関、ソバに関心を持つ人々

7. 参加費 無料

8. 懇親会 17:45~19:15 湯宿くったり温泉 レイクイン(TEL:0155-65-2141)会費4000円

9. 主催 NPO法人グリーンテクノバンク、農研機構 北海道農業研究センター、農林水産省
帯広市食産業振興協議会

後援: 帯広市、新得町

10. 参加申込み 締切7月5日(木)

別添の参加申込書、または主催者のホームページ(<http://www.gtbh.jp/>)の様式を用いて下記まで。

11. 申し込み・問い合わせ先

1) 申し込み

北海道農業研究センター畑作研究領域(資源作物育種班) 森下敏和

TEL; 0155-62-9273、FAX; 0155-61-2127、E-Mail; tosikazu@affrc.go.jp

2) 問い合わせ

グリーンテクノバンク事務局 折登一隆

TEL&FAX; 011-210-4477 E-Mail; gtbh@almond.ocn.ne.jp